



がんばろう東北 がんばろう日本

第8号

発行：東北地域ブロックセンター

発行日：2011年7月28日

文化講演会 ー認知症予防と回想法ー

6月19日(日)、ホテルサンルート山形にて、日本福祉大学セミナーが開催されました。当日は晴天にも恵まれ、100名以上の方にご参加いただきました。



文化講演会は本学健康科学部リハビリテーション学科理学療法学専攻助教の来島修志先生が講師となり、「認知症予防と回想法」というテーマで行われました。

愛知県北名古屋市で回想法の研修や実践に携わっている来島先生は、認知症の原因や症状、認知症をもつ方の難点などをお話していただき、「回想法」とはどういったものか紹介されました。回想法の例として、一升杓や杓などの昔の道具を出すと、会場からは「懐かしい」との声があがりました。

参加者は一般市民のほか、医療・福祉関係の方も多く、先生の話に頷きながらメモを取る姿が見受けられました。

認知症の予防に繋がる「脳をはたらかせること」の重要性から、回想することによって情緒が活性

化、また認知症進行予防や伝承の役割を發揮する社会参加の機会となる、と回想法の意義を述べられました。

大学近況報告・父母懇談会

文化講演会終了後、大学近況報告を行いました。保護者の方や同窓生の皆さまにご参加いただき、大学全般の概要を始め、教育面での実績、学生のフィールドワークや県人会などの活動の様子、就職活動状況をご報告しました。

また、災害ボランティアセンターをはじめとした東日本大震災支援や、大学で取り組んでいる防災対策などもご紹介しました。

その後開催された個別での父母懇談会では、「うちの子はきちんと勉強していますか?」「単位はとれていますか?」など、主に学習面を心配されているようでしたが、普段から頑張っている様子を聞いて安堵の表情を浮かべていました。



山形県地域同窓会総会

同じく6月19日、大学近況報告後、山形県地域同窓会総会が開催されました。

総会はオフィス開所式以来2年振りとなり、武田事務局長の進行のもと高橋会長の挨拶から始まり、2年分の事業・収支報告と今年度の事業計画案・収支予算案の議案協議が行われました。

参加された同窓会員の方からは、「東日本大震災が発生した際、山形県支部からすぐ

安否確認のハガキが届き、大変ありがたいと感じた。さすが福祉大学と思った。」との意見もあがりました。

「およそ140名会員がいる中、参加者は少ない。多くの方に参加してもらうにはどうしたらいいか」「会員は同窓会に何を求めているのか」など、

様々な意見が交わされ、白熱した総会となりました。

その後の懇親会では、講演していただいた来島先生、大学関係者も加わり、14名で親睦を深めました。



卒業生の声

我が青春の日福大

私は、この原稿の冒頭で3.11大震災、大津波で被災された皆様に心からお見舞い申し上げますと共に、復興の一筋の光になりたいとの思いを体中に滾らせている。

さて、話は昭和44年1月まで遡る。私は当時高校卒業目前であったが、明確な進路の考えもなく、漠然と福祉の道に行こうかと思っていた。福祉への思いは、ただただ私の尊敬すべき亡母(この人は本当に献身的に、自己犠牲的((本人はそう思っていなかったと思うが…))に福祉の道を歩んだ人だった。)への憧憬と福祉であれば「食いばぐれが無いな」との打算的な感情からだった。



そんな福祉への思いが福祉の道を歩みたいとの確信へと変化したのは、昭和44年4月、日本福祉大学への入学がきっかけだった。

当時、「現代と学問」というカリキュラムがあり、その中で先生が話された「君たちは世の中や政治に対して不平、不満や批判をしているが、ただ批判をしているだけならば今の体制に消極的に賛成しているだけだ。積極的に反対する意味を考えて欲しい。」この言葉が私にとっては衝撃的な響きであった。その後の4年間は、不満や不平への「積極的反対」とは何かを模索した日々であった。そして、私なりに行き着いた結論が、「不平、不満の対象へ具体的な行動をとる」ということだった。議論のための議論ではなく、自ら積極的に行動し、その行動を総括し、また行動することを、その後の長い県行政の中でも実行してきたという自負がある。

私のこの礎が日本福祉大学で学んだことで出来、「私の生き方を決定した我が青春の日福大」なのである。

福祉を行動するとは何か、私にとって今もってその全容は不可解である。ただ、生涯福祉一筋には生きたいと願っている。

(日本福祉大学同窓会 青森県支部
会長 佐藤 隆さん)

秋田県地域同窓会総会

6月11日、秋田市「駅前あっちゃん」にて、秋田県地域同窓会総会が開催されました。

参加者は同窓会員20名、通信教育部在学学生2名、山形最上オフィス1名の計23名となりました。

前年度の事業・決算報告と、今年度の事業計画案・予算案の議案協議が行われました。

総会が進んでいくにつれ、議論も活発になり、「情報交換をしながら、充実した人生を送ろう」「年2回程度交流会を開催し、会員同士の親睦を深めよう」といった声があがり、さらに「日福が主流になるように頑張っていこう」と、参加者全員で一致団結しました。

秋田県支部では毎年総会を開催しており、回数を重ねるごとに参加人数も増えています。

今回参加された皆さんは、卒業年度が1968年

から2011年と幅広い年代で、学部学科もバラバラですが、話に花を咲かせ賑やかなひとときを過ごしていました。当時を振り返り、一人ひとりが日福大生に戻っているようでした。



学生奮闘記 ーボランティアを通してー

古川黎明高校出身で、社会福祉学部社会福祉学科4年生の遠藤彩織さんに、今回お話をお聞きしました。

感謝の気持ちも悲しみも忘れずに

私は、この「学生奮闘記」を書かせていただくことに対して申し訳ない気持ちでいっぱいです。なぜなら、私は全然頑張っているわけではないからです。

しかし、今、私に出来ることが自分の気持ちを伝えることだと思いますので、執筆させていただこうと思いました。

私は、4月29日から5月6日まで、日本福祉大学災害ボランティアセンターの活動の一環として、宮城県にてボランティアをして承りました。その時の感想を以下より述べたいと思います。

私は、ふるさとである宮城県が被災地と呼ばれることが辛いです。しかしそう思えるようになって良かったと考えています。一週間の現地ボランティアを通して、やっと少しずつ東日本大震災が起こったという事実を受け入れることが出来ている証拠だと思うからです。全国各地からボランティ

アの方がたくさんいらっしゃって、東北のことをたくさん考えて下さりました。とても有難いことなのですが、私は少し心が乱された気持ちになりました。

それは甚大な被害があったことを心のどこかで受け入れられない自分がいたのだと思います。現地の事実も、自分の甘えている心の現実も認められなくなりました。（宮城県出身で同情してほしいと思っていたのを「自分の甘えている心の現実」としています。）

しっかりと事実に向き合うことが出来たのは、現地で一緒にボランティアをさせていただいた方、後方支援をくださった方、少しでも東日本のことを考えてくださった方、被害に遭われても一生懸命生きている方のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。

今後は新しい現状やニーズを把握してそれに見合った支援はどういうものか考え、行動していきたいです。そのためにも、自分のことではなくなり、客観的に物事を考えていけるように努力していこうと思いました。それと同時に、今までの悲しみもずっと忘れずにいたいです。

学長講話 一高校生へ送る「はじめてのふくし」

7月20日、新庄北高等学校最上校にて、日本福祉大学の加藤幸雄学長を講師に迎え、「はじめてのふくし」と題した講話を行いました。

最上校は、実習等で最上町を訪れた本学の学生と交流を深めたり、これまで本学へ入学した最上町出身者10名のうち、6名が最上校の生徒である等、本学とは深い繋がりがあります。



加藤学長はまず「ふくし」とは何か「**ふだんのくらしのしあわせ=ふくし**」であることを説き、ふくしに大切な「いのち」「くらし」「いきがい」についてお話しました。

日本司法福祉学会の会長も務めている加藤学長は、自身の経験を交え司法福祉を語り、医療福祉、福祉経営、福祉工学、福祉心理、福祉文化、環境福祉と、様々な領域へ広がる「ふくし」はあらゆる場面に欠かせないものであることを、それぞれ具体例を挙げ説明しました。

さらに、大学の標語である「真実と慈愛と献身を」という言葉を紹介し、物事の表面だけでなく背景まで深く知る力や、違う立場からの思いやりが必要であると訴え、「高校生のうちに勉強を沢山して、自分が出来る献身を行ってください。思いやりは巡りめぐって自分に返ってきます。」とメッセージを送り、締めくくりました。

入試インフォメーション

学生さんは夏休みが待ち遠しく感じる季節ですが、受験生の皆さんにとっては進路を決める大事な時期となります。いよいよ大学入試がスタートします。

AO(アドミッション・オフィス)入試とは、目的意識や熱意・意欲を重視した入学試験です。全国各地で開催されるAOガイダンスや進学相談会、オープンキャンパスへの参加など、最低1回は本学教職員との面談が必要になります。皆さんのご参加・ご出願をお待ちしております。

試験の詳細については、必ず受験ガイド・入学試験要項をご確認ください。

AO入試<前期>

出願期間 8月31日(水)~9月7日(水)必着
結果通知 9月14日(水)
試験日 9月24日(土)・25日(日)
合格発表 9月28日(水)
試験会場 日本福祉大学美浜キャンパス

スポーツ推薦入試<前期>

文化・芸術系部活動など推薦入試<前期>
出願期間 8月30日(火)~9月7日(水)必着
試験日 9月11日(日)
合格発表 9月14日(水)
試験会場 日本福祉大学美浜キャンパス

日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101

山形県最上郡最上町大字向町674番地 最上町立中央公民館内

TEL:0233-43-9232 FAX:0233-43-2350

MAIL: a-humin@n-fukushi.ac.jp

(火~土 10:00~18:00)

※ブロックセンターブログもご覧ください

ブログURL <http://blog.n-fukushi.ac.jp/bc-yamagata/> (PC・携帯共通)

